

島中学校保護者様

令和6年度 保護者アンケートの集計より

1 集計結果の経年変化

保護者アンケートへのご回答ありがとうございました。皆様から頂いた回答を集計し、来年度の学校運営に生かしていきたいと考えています。詳細に関しては、次頁をご覧ください。

(4段階評価の平均)

令和6年度 保護者アンケート集計結果		R6	R5	R4
重点1. 「わかった」「できた」学びの喜びを実感し、主体的に粘り強く学習に取り組む姿の育成				
1	学校は、基礎基本を大切にし、わかる授業の実現に努めている。	3.1	2.9	3.0
2	学校は、仲間と共に楽しく学び合う生徒の姿の実現に努めている。	3.2	3.1	3.1
3	学校は、生徒の学習の様子を的確に評価している。	3.0	2.9	3.0
4	学校は、自他を認め合う豊かな心や倫理観の育成など、よりよい生き方指導に努めている。	3.1	3.0	3.0
重点2. 共に活動することに価値を見だし、願いや目標に向かってひたむきに努力する姿の育成				
5	学校は、自ら価値ある活動を見つけ取り組む日常活動(常)の充実に努めている。	3.1	3.0	3.0
6	学校は、目標に向け努力する大切さを学ぶ体験活動(学校行事)の充実に努めている。	3.2	3.1	3.0
7	学校は、向上を目指して高め合い喜び合える人間関係づくりに努めている。	3.1	3.0	3.0
8	学校は、一人ひとりの個性を伸ばす進路指導(3年間)に努めている。	3.0	2.8	2.9
重点3. 仲間と共に課題の解決に向かい凝集力を高め、自信と誇りに結ぶ姿の育成				
9	学校は、様々な活動(修学旅行、校外学習、体育大会、合掌の行事等)を通じて、仲間づくりに努めている。	3.2	3.1	3.2
10	学校は、あいさつ活動の充実に努めている。	3.0	3.0	3.0
11	学校は、ボランティア活動の参加について啓発している。	3.0	3.0	2.9
重点4. 徹底した生徒理解に努める教師集団				
12	学校は、生徒が悩みを進んで相談できる体制づくりに努めている。	3.0	2.9	2.9
13	学校は、差別やいじめのない学校づくりに努めている。	3.0	3.0	3.0
14	学校は、生徒一人一人のよさを認め励まし、広める指導に努めている。	3.1	3.0	3.0
15	学校は、一丸となって生徒の指導にあたっている。	3.0	2.9	3.0
重点5. 保護者や地域から支えられる学校の創造				
16	学校は、生徒の様子を保護者や地域に伝える努力をしている。	3.0	3.0	3.0
17	学校は、家庭との連絡を図ることに努めている。	3.1	3.0	3.0
18	学校は、保護者や地域の意見を大切にした学校運営に努めている。	3.0	3.0	3.0

2 考察と今後の方向について

重点1 「わかった」「できた」学びの喜びを実感し、主体的に粘り強く学習に取り組む姿の育成について

現在の学習指導要領では、生徒たちが課題をもち、様々な方法で課題解決に向かうことができるように授業を仕組む、「協働学習」を推奨しています。そのため、教師が一方向的に説明を繰り返す、いわゆる「講義形式」の授業からの脱却を求められています。本校では、早くから協働学習の研修を行い、各教科で実践を行っています。そうしたことから、生徒自身が学習課題をもって授業に臨み、仲間と協働して解決していくことで、「できた」「わかった」と感じることができていると考えられます。

今後は、より学習課題を明確にもって、授業に臨むことができるよう、また反復練習を積んで、確かな学力の定着につながるよう授業を研鑽していきます。

重点2 共に活動することに価値を見だし、願いや目標に向かってひたむきに努力する姿の育成について

新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、島中学校でも各行事を全校体制で行うようにしてきました。そうしたことで、「仲間のために…」「周りの人と一緒に…」という思いで活動できることを目指して、指導を行ってきました。

また、本校は、ぎふMIRAI 'Sの学習をはじめ、キャリアスクール、各種団体、企業による講演会など、キャリア学習にも力を入れています。今後は、こうした活動をメールや各種通信等で発信していくことで、各家庭で共通の話題にいただき、学習の成果がより深まるようにしていきます。

重点3 仲間と共に課題の解決に向かい凝集力を高め、自信と誇りに結ぶ姿の育成について

現在、地域から依頼をいただいているボランティアは、年間13件を超え、校内ボランティア活動も加えるとその参加人数は、のべ500人を優に超えます。こうしたことから中学生が地域の一員として行事に参加し、活躍することが定着したと分かります。

しかし「中学生が挨拶をしない」など、厳しいご意見も賜っています。多感な時期なので、難しい面もありますが、引き続き、挨拶の価値を指導していきます。

重点4 徹底した生徒理解に努める教師集団について

本校では、生徒がその日の心情を伝える「ここタン」の実施に力を入れています。教師は、生徒が入力した数値を、毎日欠かさずチェックし、変化が大きい生徒には、必ず声をかけるようにしています。

また年間6回のいじめに関するアンケートや心のアンケートを実施し、事案を認知した場合には、全校体制で即日対応ができるように努めています。

今後は、生徒の頑張りをより確実につかみ、認め励ますことで、自己有用感、自己肯定感を高めることに努めます。

重点5 保護者や地域から支えられる学校の創造について

岐阜市のペーパーレス化の取組を受け、現在、学校からの連絡や配付物は、生徒のタブレットや保護者メールを通じた発信となっています。しかし、紙による配付をしていた時と同様に、様々な理由で、保護者のもとに届かないものがいくつかあります。今後は、生徒の活動の様子や頑張りを適時的確に配信することはもちろん、その方法も吟味していきたいと思えます。